



田中保美 議員

京都府立井手やまぶき支援学校との連携・交流は

高江学校教育課長

各種団体と幅広く連携・交流

Q これまでに、京都府立井手やまぶき支援学校と本町はどのような連携を行ったのか。

A 町内のコーラスサークルによる校歌の収録と学校祭への出演、京都産業大学井手応援隊による学校紹介等の動画作成など。

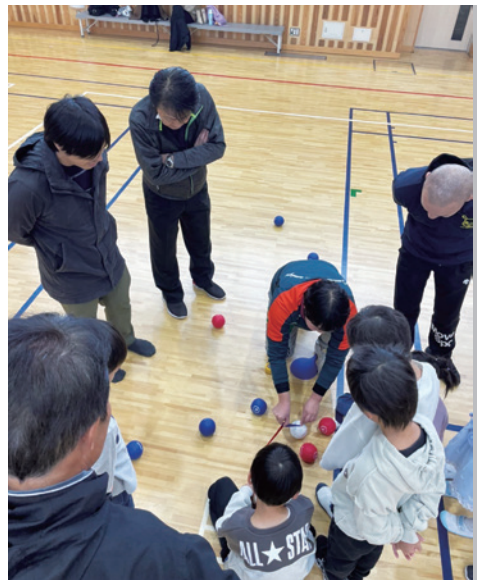
Q 京都府立井手やまぶき支援学校との主な交流事業は。

A 農業委員による田植え、稲刈り体験。支援学校生によるふれあいギャラリー、町文化祭への作品展示。こども議会、青少年の主張大会への参加、町内の工場見学やピザ作り体験など。

Q 今後の連携・交流等の考えは。

A これまでの連携・交流事業を継続し、新

たな取組に向け支援学校、住民、各種団体と協力して、さらなる充実・発展に努める。



IDEゆうゆうスポーツクラブとのボッチャ体験

地域資源を活かした観光・交流事業は

西島町長
山本地域創生推進室長
菱本産業環境課長

広域による観光資源の活用が重要

Q 町の地域資源を活かした滞在型の観光・交流を促進する事業や取組を、今後どのように進めるのか。

A お茶の京都DMOや周辺市町、関係機関と連携した広域による観光資源の活用やブラッシュアップを図ることが重要。

多賀のフルーツ狩り、ホタル公園、大正池グリーンパークを含めた観光周遊ルートをつくる必要があると考えている。

「テオテラスいで」と椿坂との間を周遊できるように、「テオテラスいで」から玉川右岸につながる道路を整備する。

Q 「まちづくりセンター椿坂」の主な取組は。

A 「井手応援隊」と「まちづくり協議会」が連携して筍などを用いたピザレシピを考案・開発。

泉ヶ丘中学校や京都府立井手やまぶき支援学校の生徒達の体験学習では、ピザ作り、陶芸、水墨画、椿坂での

野菜の植え付けや収穫体験などを実施している。

Q 「大正池グリーンパーク」の主な取組は。

A 大正池渓流魚センターやたくみの里が開催するイベントと連携し、宿泊や休憩に利用、体験事業としてカヌー、カヤック、新割り体験などを実施している。



まちづくりセンター椿坂でのピザ作り体験



木村 健太 議員

ゴミ集積場の散乱や不法投棄対策は

菱本産業環境課長

啓発看板や警察とも連携

Q ゴミの集積場におけるゴミの散乱抑制は。

A ゴミの集積場でない箇所へのゴミ捨てや不法投棄の抑制策は。

Q 希望する区に対して、ゴミのネットや啓発看板を配布している。各集積場の重石や集積ボックスなどの工夫は地域の方々に対応していただいている。『ごみ分別カレンダー』等にて、ゴミ捨ての注意等啓発を行っている。

A 対象のゴミへの啓発シールの貼り付けや、町内4か所の集積場に自動撮影カメラの設置、保健所や警察と連携し対応している。



ゴミは決められた日、場所に出しましょう

徹底は。

A 近隣自治体の取組も本町と同様の内容。パトロールについては、ゴミ収集時に加え、産業環境課や現場に出た際の関係職員により実施。府にも不法投棄監視パトロールを行ってらるっている。

Q 効果的な新たな取組の検討は。

A プライバシーの配慮もあるが、地域からの要望があれば、各区と協議のうえ自動撮影カメラの増設なども検討する。

フン等の苦情に対する対応は

菱本産業環境課長

適正飼養の啓発・指導を実施

Q 住民からフン害等についての苦情があった場合、町としての対応は。

A 保健所等と連携し何か対策を取ることができないのか。

A 地域からの要望に合わせ、啓発看板の配布や現地周辺地域への啓発チラシの配布、現地確認を行い申し出内容に応じ対応している。飼い主が特定できる場合は、適正飼養の観点から指導を行う。

A 飼い主が特定できる場合は、町職員も同行し改善指導を行う。適正飼養にかかる啓発を行い、状況により、保健所や府生活衛生課の協力も得ながら対応する。



フンの処理は飼い主の責任です



鎌田隆宏議員

「テオテラスいで」の更なる利便性向上策は

山本地域創生推進室長
協本総務課長

費用対効果を
踏まえ検討する

Q 自然休養村管理センターや役場旧庁舎を「テオテラスいで」の調理場やバックヤードとして利用することは出来ないか。

A 段差が低く、バリアフリーになっている東側か南側の出入り口から利用できるように、わかりやすく誘導案内板を掲示する。

A 必要な改修内容や運営主体、費用対効果等を踏まえ、方針を検討する。

Q 雨の日など、搬入口に雨除けがあればよいと思うが、その考えは。

Q 西側入口は車いすでの利用が困難となっているが対応策は。

A 雨除けの設置については、「出荷者協議会」の意見を聞きながら検討する。

ら検討する。

Q 災害時に「テオテラスいで」が果たす役割は。

A 避難所として位置付けている。災害時等

には会議室、集会室和室を利用していただくが、スペースが足りない場合は、「テオテラスいで」のスペースを活用することも考えられる。



「テオテラスいで」をもっと便利に

自然休養村管理センターの今後の活用は

菱本産業環境課長

有効利用に取り組む

Q 自然休養村管理センターのホールの使用について、今後の活用予定は。

A 自然休養村管理センターの利用については、カラオケ大会や雨天時の消防団の操法訓練

などに利用されている。

今後、解体工事や国道24号城陽井手木津川バイパス整備工事着手により、一時期通行の支障もあるが、残地で駐車場整備等を行い、有効利用に取り組んでいく。



これからも利用される自然休養村管理センター

【特集】こども議会
12月定例会
町政を問う
管外視察研修報告
研修・委員会報告
要望書の提出
【特集】二十歳のつどい
いでたんが聞く

管外視察研修報告

議員の果たすべき役割を再認識

11月14・15日と、東京で管外視察研修を行いました。

国の重要な施設の見学、要望書の提出、先進事例の視察など、充実した研修となりました。

●国会議事堂

大正9年から17年の歳月をかけて完成し、時代の変化に対応しながら、我が国の議会政治の歴史とともに、現在に至っていると説明がありました。

扉の鍵、鍵穴とステンドグラスについては日本に技術がなかったため、海外から輸入されたとのこと、当時の国内の建築技術のすべてを費やして建設されました。

●国立国会図書館

国会に属する日本で唯一の国立の図書館であり、国内で発行される雑誌、新聞、映像資料など、年間約72万7000点もの書籍、資料を収集し、保管しているとのこと。

保存状態を維持し、100年後200年後の未来の日本人に役立ててもらうために、日々業務を行っているとの説明を受け、崇高な理念のもと職務に従事されている姿に感銘を受けました。



国会図書館にて



国会議事堂にて

早期実現のために要望書を提出

井手町議会議員団として、国土交通省道路局の国道・技術課長と面会し、要望書を提出してきました。

要望書の内容は次の通りです。

- 1、国道24号城陽井手木津川バイパスの整備促進について
- 2、国道24号城陽井手木津川バイパスにアクセスする町道整備について
- 3、国道24号城陽井手木津川バイパスにおける「道の駅」について

本町の課題である人口減少を食い止め、まちを活性化させるためには、国道24号城陽井手木津川バイパスの早期実現はもとより、アクセス道路となる町道や「道の駅」の整備が必要不可欠であり、担当課長からは、用地の買収等がスムーズに行えるように「国、地権者、行政、議会が共に協力して行きましよう」と前向きな言葉をいただきました。



担当課長に要望書を直接手渡す議員団

●学校体育館空調設備設置

文京区林町小学校の体育館に設置されている空調について、現地視察を行い、実際に稼働している状況を見学させていただきました。

事前に提出していた質問事項に担当者より回答をいただき、設置場所の問題や、設置費用、維持管理費、交付金の活用状況などについて説明を受けました。

体育館は学校教育の施設としてだけでなく、避難所として活用されることも想定されるため、災害発生時など、電力等のインフラ供給停止時の空調機の運転についても、追加で議員から質問がありました。



実際に設置されている空調設備



空調が稼働している体育館で説明を受ける議員団

学校体育館空調設備設置に対する各議員の報告書の要約は次の通りです

木村 武壽	説明を受けた内容を、本町での体育館の空調設置に活かしたい。
岡田 久雄	今回の視察研修を通して、生徒・児童の熱中症対策、防災対策として小・中学校体育館の空調管理は早期の設置が必要であると実感した。
谷田 利一	学校体育館への空調設備設置について、熱中症対策としての環境整備は急務であると感じ、早期実現の要望を出したい。
脇本 尚憲	視察先の先生や子どもたちに声をかけたところ、今年の夏も快適に体育館で活動できたと話されていた。早期実現のために、活動していきたい。
奥田 俊夫	実際に使用されている方たちの生の声を聞くことができ、参考になった。
田中 保美	視察の中で環境設備等で学ぶところがたくさんあった。今後の空調設備設置に向け、活かしていきたい。
小割 直彦	熱中症対策に欠かせない設備であり、今後の設置時の参考にしたい。
鎌田 隆宏	設置箇所、ランニングコスト、熱中症対策、避難所としての使用を検討する必要がある。
谷田 健治	効率の良い空調設備にするには、どの設備が良いのか、断熱は必要か、安全面や環境に及ぼす影響など、様々な課題があると感じた。
木村 健太	体育館の広さ、屋根の高さにより効果にかなり差があること、大きさの異なる小・中学校の設置に向けて、活かせる視察となった。

市町村議会議員研修会

議会改革を考える

～先進事例に学ぶ住民参画・情報公開～

岡田 久雄

10月23・24日に全国市町村国際文化研究所で行われた市町村議会議員研修会に、鎌田隆宏議員と参加しました。

1日目は、議会改革を進めるにあたっての基本的な事項（地方自治の現状、国の法制度の変化）や、議会や議員に求められる役割について、また、先進事例として様々な世代の市民参画や「見える化」の活動、「政策立案等に関するガイドライン」の策定などの取組を聞き、その後の意見交換を通じて理解を深めることができました。

2日目は、「議会広報を考える」をテーマに、ダイアログ（対話）の手法を用いた演習を体験し、このように議員間討議を行うか、また、どのような手法を用いれば会議の成果が挙がるかを学び研修会を終りました。

大変充実した研修で、今後の議会活動に活かして行きたいと思えます。



産業厚生常任委員会報告

工事の積算及び進捗状況について

委員長 奥田 俊夫

12月1日に委員全員の5名と委員外議員5名の出席のもと開催しました。

アクセス道路の整備など、本町の将来を左右する大変重要な事業が進められている中、議会でもたびたび質問が出ている工事の積算方法の理解をより深めるために、昨年に続き開催しました。

工事積算書の基本的な構成（一般土木）の場合を例にとり、具体的な計算方法や低入札調査価格制度（予定価格・調査基準価格・失格基準価格など）について、行政側から、参考資料を用いて丁寧にわかりやすく説明を受けました。

その後、主な事業の進捗状況の説明を受け、各委員が質疑を行いました。

入札結果の金額にバラツキがあるのはなぜか、入札金額が同額の場合はこのようにして業者を決めるのかなど、いろいろな質問があり活発な委員会となりました。



総務文教常任委員会報告

早期実現のために要望書を提出

委員長 脇本 尚憲

12月1日に委員全員の出席のもと開催しました。

今回の委員会では「町内小・中学校への空調設備設置」を進めるために、補助金や助成金の活用、設置コストやメンテナンス費用の軽減の方法、室外機の音の問題など、視察の際にいただいた情報をもとに議論し、視察内容や意見の集約を行いました。

また、空調設備設置の早期実施が先決のため、細かな点は予算化され設計ができた時点で再度検討することを確認しました。

要望書も委員会でも取りまとめ、空調設備の早期実現のための活動を今後もしていきたいと思えます。



町内小・中学校の体育館等への 空調設備設置を求める要望書

12月6日に西島町長に提出した要望書の内容は次の通りです。

夏季における猛暑日や熱帯夜が年々増加する中、この危険で異常な暑さは、今や全ての世代の人々の生命や生活に直結する深刻な問題となっています。

全国の小・中学校では、児童・生徒が体育館での運動時に救急搬送されるなどの事例が発生しており、このような状況では、児童・生徒の安心・安全を守りながら、学校教育を行っていくことは困難です。

さらに、小学校の体育館は、災害時には指定避難所として、また選挙時には投票所、ワクチンの集団接種時には接種会場ともなり、それらの利用環境を向上させ、利用者の生命や健康面を守るために、可及的速やかな対応が求められているところです。

そうした中、国においては、「学校施設環境改善交付金」等、学校施設における空調設備の導入に活用できる国庫補助制度が拡充されており、令和5年7月には、内閣府より指定避難所における防災機能設備等の強化の推進として、指定避難所とされることが多い公立小・中学校施設について、空調設備の設置を積極的に検討するよう、国から通知が出されております。

体育館への空調設備の設置については、これまでから、議会の一般質問等で度々取り上げられてまいりました。

現在子育て支援対策事業に積極的に取り組んでいる本町において、児童・生徒の学校生活における安心・安全を守るため、また、災害時や選挙時などにおいても、町民が体育館を安心して利用することができるよう、この機を逃すことなく、町内小・中学校の体育館等への空調設備設置を早期に実施するよう、強く要望いたします。



議会を代表して議長、副議長が西島町長に対し要望書を提出しました

二十歳のつどい

特集

「特集」こども議会

12月定例会

町政を問う

管外視察研修報告

研修・委員会報告

要望書の提出

「特集」二十歳のつどい

いでたんが聞く

二十歳のつどいの様子です。



今年から新しくなった山吹ふれあいセンターで開催されています。



令和6年 井手町

1月7日に開催された



新庁舎前での記念撮影



二十歳になられた皆さまおめでとうございます。

いでたんが聞く

新米記者いでたんが町に出かけて、まちのこといろいろ聞いてみます。

今回は二十歳のつどいに出席された
皆さんに突撃インタビューをしてきました。



いでたん



- ① 将来の夢
- ② 二十歳になって
したいこと
- ③ 未来の井手町はどう
なって欲しいか?
- ④ 好きな食べ物
- ⑤ 座右の銘



大西 晴天
(おおにしはる)

- ① システムエンジニア
- ② 海外旅行にたくさん
行く
- ③ 元気な町
- ④ みかん、家系ラーメン
- ⑤ 無欲は怠惰の基



中坊 優里
(なかぼうゆり)

- ① 看護師
- ② 家族と一緒にお酒を
飲む!!
- ③ 活気溢れる、いろんな
人が来たいと思える町
- ④ たまご、お母さんのグ
ラタン
- ⑤ 最後までやりきる



脇本 華
(わきもとはな)

- ① 幸せに生きる
- ② いろんな人と美味し
いお酒を飲みに行く
- ③ このまま変わらず平
和に。でもちょっと栄
えてほしい
- ④ もつ鍋
- ⑤ 人生はタイミング、選
んだ道を正解にする



島本 開人
(しまもとかいと)

- ① プロサッカー選手
- ② 大人とお酒飲む
- ③ コンビニ増えてそう
- ④ オムライス
- ⑤ 2度あることは3度ある



吉岡 楓 凱
(よしおかふうが)

- ① 公務員
- ② 国家資格取得
- ③ 今と変わらない平和で
田舎な井手町が良い
です。
- ④ ラーメン
- ⑤ 落ちこぼれだって必死で努力す
りゃエリートを超えることがあ
るかもよ(ドラゴンボールより)



紙野 夏妃
(かみのなつき)

- ① お金持ちになる
- ② 一人旅行
- ③ 変わらずそのまま
- ④ 牛タン
- ⑤ アンミカマインドで生
きる



西島 陽
(にしじまひなた)

- ① みんなから愛される
小学校の先生
- ② 大人とお酒を飲みたい
- ③ みんなが訪れたいと
思う素敵な町
- ④ 海鮮類
- ⑤ No rain No rainbow

ご協力ありがとうございました!!

